

大正九年九月十七日

書記官長

主筆書記官

書記官

外務省官制中改正一件
外一件
審査報告

謹于今回御諮詢ノ外務省官制中改正
ノ件並外交官及領事官官制中改正ノ

官制

相
密
附

件ヲ審査スルニ本案ノ要員ハ左ニ掲クル諸

点ニ在リ

第一外務省官制中改正ノ件

(一) 現行規程ニ依リハ外交ニ関スル事務

ハ其ノ何レ地域ニ係ルモノタルヲ問ハス

總テ政務局ニ於テ之ヲ掌理スルモ

近年国際政局複雑ヲ加ヘ外交事

務多端ト爲リ殊ニ極東方面ニ関ス

ル交渉事件頻出スルニ際レ僅ニ政務

局一部ヲ以テシテハ此等一切ノ外交

事務ヲ処年スルコト甚ク困難ナリ依テ

本案ヲ以テ現在ノ政務局ニ代ヘ新ニ亞細

亞局及歐米局ノ二局ヲ設ケ亞細亞局ニ

於テ支那國、香港、澳門及暹羅國ニ

關スル外交事務ヲ掌リ歐米局ニ於

テハ其ノ以外ノ外交事務ヲ掌ルモノ

ト爲ス(第四條、第五條及第五條ノ三)

是レ外交事務ニ付テハ地域ニ依リ分

掌リテ定ムルノ主義ヲ採リ且實際案

件ノ數量ニ考ヘテ事務ヲ分配セムトス

ルモノナリ

(二)内外電信暗號ノ調査、暗號電報

ノ取扱其ノ他電信符號ニ関スル事務

ニ付テハ從來特殊官職ヲ置カス

便宜他職員ヲシテ之ニ當ラシメタル

モ近來其ノ事務頗ニ増進シ之ニ関

スル專任職員ノ必要ヲ感スルコト切

ナルカ故ニ今回新ニ電信官(奏任)ヲ

設ケ專任二人ヲ置キ電信符號ニ

関スル事項ニ後事セシメトス(第七條

(三)

三 前掲局ノ増設其ノ他事務ノ増加ニ伴

ヒ書記官專任三人ヲ増シテ十五人トシ

(第三條) 翻譯官二人、屬二十三人及

技手二人ヲ増シ且翻譯官、屬、翻譯

官補及技手ノ定員ハ何モ專任者ノ定

員ナクコトヲ定メ(第七條及第八條乃至

第十條) 又在來外務部内ニ外務省事

務官及外務事務官ノ二官ヲ併置シテ

ルモ官名ヲ整理スル爲他ノ類例ニ倣ヒテ

外務省事務官ヲ外務事務官ニ改メ

~~事務官~~ 三閣元

曩ニ西比利亞事務ノ爲臨時増設シタル

外務事務官五人ヲ常置ノ職員ト爲シテ

之ヲ現在ノ定員ニ加ヘ(第六條ノ三)本令施

行ノ際現ニ外務省事務官ノ職ニ在ル者

別ニ辞令書ヲ交付セラレサルトキハ同官等

俸給ヲ以テ外務事務官ニ任セラレタルモ

ト爲サムトス(附則第二項)

第二外交官及領事官官制中改正ノ件

現行規程ニ依ル外交官及領事官ノ待

命、滿三箇年ヲ以テ期トシ、期滿ツレハ當

然其ノ官ヲ免スルコト本則ナルモ特例トシテ

待命ノ外交官ニシテ外務省ノ次官、政務

局長又ハ通商局長ヲ兼スル者ハ其ノ兼官

在職中右ノ本則ヲ適用セサルモノトセリ（第

十條）然ルニ本省ノ局長ハ曩ニ條約局長ノ

加ハルアリ今又政務局長ノ代リニ亞細亞歐

米ノ二局長ノ加ハルアリ本省各局長ハ右特

例ニ付テハ何等之ヲ區別ス（キ理由ナキカ

故ニ本案ヲ以テ其ノ趣旨ヲ規定セムトス又

同條中公使館領事館費用條例トアルヲ

在外公館費用條例ト改ムルハ單ニ字句ノ

整理ニ過キサルナリ

按ルニ右兩案~~ハ~~渉外事務ノ發展ニ伴フ

實際ノ必要ニ應タルノ趣旨ニ出テ兼テ規

定ノ整理ヲ含ムモノニシテ別ニ支障ノ虞ナキニ

付此儘可決セラレ然ルヘシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正九年九月二十二日 書記官長

議長宛

大正九年九月十七日

書記官長

主筆書記官

利

書記官

逓信省官制中改正、件外^四件

審査報告

謹于今回御諮詢、逓信省官制中改正、件外^四件ヲ

審査スルニ各件ノ内容ハ以下逐次開陳スル所、如シ

區
察
院